

<記入例> 道路標識 門型

点検表(施設諸元)

種別	道路標識	管理者	〇〇地整	〇〇国道事務所 △△出張所	管理番号	△△△△
----	------	-----	------	---------------	------	------

■位置情報

道路種別	一般国道(指定区間内 高規格以外)		路線名	一般国道〇〇号		上・下別	上・下
所在地	〇〇県	〇〇市	〇〇町			距離標 (km)	〇.〇〇〇
緯度	dd° mm' ss.s"		経度	ddd° mm' ss.s"		備考	

■構造情報

支柱形式	門型式(オーバーヘッド型)		表面処理形式	塗装式		基礎形式	ベースプレート型	
支柱基部 リブ形状	三角リブ		路面境界部の 状況	ベースプレート露出		灯具種類	-	
標識設置枚数 及び標識番号	2	108の2-B	標識板の 取付形式	吊下式	固定式	標識板の落下 防止対策	無	
ゆるみ止め 対策の有無	無		合いマーク	今回実施(全部)		制振装置 の有無	無	
柱基部排水 性向上対策	無		設置年月	不明		備考	占用物件なし	

■設置環境情報

設置環境	一般部	海岸からの 距離	20km以上	融雪剤 散布区間	該当する	風規制 実施区間	該当しない
防雪対策 実施区間	該当しない	センサス 年度	-	センサス 区間番号	1234567890	交通量	1,000 台/24h
道路幅員 (m)	7.5	歩道幅員 (m)	無	緊急輸送道路 指定の有無	二次	通学路指定 の有無	無

■点検情報

点検種別	定期点検(詳細)	点検方法	近接目視	点検年月日	2014年	〇月	〇日	前回 点検年月日	2009年	〇月	〇日
点検員 (所属・氏名)	株式会社〇〇〇〇		〇〇 〇〇	備考							

更新履歴	前回設置年月	
------	--------	--

箇所図



全景



基礎



注1: 緯度・経度については、世界測地系で0.1"単位まで記入する

注2: 距離標、センサス(年度、区間、交通量)については、ある場合に記入する。

点検表(点検結果票)

種別	道路標識	管理者	〇〇地整	〇〇国道事務所	△△出張所	管理番号	△△△△
----	------	-----	------	---------	-------	------	------

■点検結果			損傷程度の評価																対策の 要否	部材の 健全性の 診断		
部材及び点検箇所			対象 有無	点検 状況	変状の種類																	
部材等	点検箇所	記号			鋼部材				コンクリート部材				共通									
					き裂	ゆるみ・腐蝕	破断	腐食	変形・変位	ひびわれ	うき・剥離	滞水	その他									
			点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後				
支柱	支柱本体	支柱本体	Pph	有	済	a				a	a							-	否	I		
		支柱継手部	Ppj	有	済	a	a	a	a	a											-	
		支柱分岐部	Ppd	無																		
		支柱内部	Ppi	無																		
	支柱基部	リブ・取付溶接部	Pbr	有	済	a				a	a										-	
		柱・ベースプレート溶接部	Pbp	有	済	a				a	a										-	
		ベースプレート取付部	Pbb	有	済	a	a	a	a	a											-	
		路面境界部 (GL-0)	Pgl-0	無																		
		路面境界部 (GL-40)	Pgl-40	無																		
		柱・基礎境界部	Pjb	無																		
その他	電気設備用開口部	Phh	無																			
	開口部ボルト	Phb	無																			
横梁	横梁本体	横梁本体	Chh	有	済	a				a	a							-	否	I		
		横梁取付部	Chl	有	済	a	a	a	a	a								-				
		横梁トラス本体	Chb	無																		
	溶接部・継手部	横梁仕口溶接部	Cbw	有	済	a				a	a										-	
		横梁トラス溶接部	Ctw	無																		
		横梁継手部	Cbj	有	済	a	a	a	a	a											-	
標識板等	標識板	標識板 (添架含む)	Srs	有	済	a	a	a	a	a								-	否	I		
		標識板取付部		有	済	a	c	a	a	a	a							-				
	道路情報板	道路情報板	Srs	無																		
		道路情報板取付部		無																		
	その他(灯具等)	灯具	Sli	無																		
灯具取付部		無																				
基礎	基礎コンクリート部	基礎コンクリート部	Ebc	有	済					a	a	a	a				-	否	I			
	アンカーボルト・ナット	アンカーボルト・ナット	Eab	有	済	a	a	a	a	a							-					
ブラケット	ブラケット本体	ブラケット本体	Brh	無																		
	ブラケット取付部	ブラケット取付部	Bri	無																		
その他	その他	バンド部 (共架型)	Xbn	無																		
		配線部分	Xwi	無																		
		管理用の足場・作業台	-	無																		
■所見(その他特記事項)																施設の 健全性の 診断	I					

※部材の健全性の診断欄のハッチ(濃いグレー)部は、通常では存在しない点検箇所と変状の種類の組み合わせである。
※点検調査(例)は、各道路管理者の判断により、大型の道路標識及び道路情報提供装置以外についても定期点検を実施する場合を想定し、共通様式として使用できるように作成したものである。

点検表 (損傷記録票)

種別	道路標識	管理者	〇〇地整	〇〇国道事務所△△出張所	管理番号	△△△△
----	------	-----	------	--------------	------	------

■ 損傷程度の評価および措置 (応急含む)

部材名称	標識取付部									
損傷程度 の評価	部材判定	変状の種類								
		鋼部材					コンクリート部材		共通	
		き裂	ゆるみ・脱落	破断	腐食	変形・欠損	ひびわれ	うき・剥離	滞水	その他
	点検時評価	a	c	a	a	a				
措置後評価		a								
措置 (応急含む)	実施内容		ボルト再締め付け、合いマークの施工							
	未実施	理由								
		予定時期								
		予定内容								
特記事項										

措置後



※点検箇所毎につき、なるべく1枚で作成(変状の種類に対する判定区分が、1つでもⅡ～Ⅲと判定された部材毎に作成する)

<記入例> 道路情報提供装置 (門型)

点検表 (施設諸元)

種別	道路情報提供装置(添架物有)	管理者	〇〇地整	〇〇国道事務所 △△出張所	管理番号	△△△△
----	----------------	-----	------	---------------	------	------

■位置情報

道路種別	一般国道(指定区間内 高規格以外)		路線名	一般国道〇〇号		上・下別	上・下
所在地	〇〇県	〇〇市	〇〇町〇〇1-2			距離標 (km)	〇〇〇. 〇〇〇
緯度	dd° mm' ss.s"		経度	ddd° mm' ss.s"		備考	

■構造情報

支柱形式	門型式(オーバーヘッド型)		表面処理形式	塗装式		基礎形式	ベースプレート型	
支柱基部 リップ形状	三角リップ		路面境界部の 状況	ベースプレート露出		灯具種類	-	
標識設置枚数 及び標識番号	2	117-A	標識板の 取付形式	固定式		標識板の落下 防止対策	無	
ゆるみ止め 対策の有無	有	ダブルナット(一部)	合いマーク	有(全部)		制振装置 の有無	無	
柱基部排水 性向上対策	無		設置年月	1989年	3月	備考	占用物件あり(標識版2枚)	

■設置環境情報

設置環境	一般部	海岸からの 距離	100m未満	融雪剤 散布区間	該当しない	風規制 実施区間	該当しない
防雪対策 実施区間	該当しない	センサス 年度	H22	センサス 区間番号	1234567890	交通量	2,000 台/24h
道路幅員 (m)	6.5	歩道の有無	有	緊急輸送道路 指定の有無	無	通学路指定 の有無	有

■点検情報

点検種別	定期点検(詳細)	点検方法	近接目視	点検年月日	2013年	〇月	〇日	前回 点検年月日	2008年	〇月	〇日
点検員 (所属・氏名)	株式会社〇〇〇〇		〇〇 〇〇	備考							

更新履歴	前回設置年月	
------	--------	--

箇所図



全景写真



注1: 緯度・経度については、世界測地系で0.1"単位まで記入する

注2: 距離標、センサス(年度、区間、交通量)については、ある場合に記入する。

点検表(点検結果票)

種別	道路情報提供装置(添架物有)	管理者	〇〇地整	〇〇国道事務所 △△出張所	管理番号	△△△△
----	----------------	-----	------	---------------	------	------

■点検結果		部材及び点検箇所		対象 有無	点検 状況	損傷程度の評価																				対策 の 要否	部材の 健全性の 診断													
部材等	点検箇所	記号	変状の種類																																					
			鋼部材						コンクリート部材				共通																											
				点検時	措置後	き裂	ゆるみ・脱落	破断	腐食	変形・欠損	ひびわれ	うき・剝離	滞水	その他	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後	点検時	措置後										
支柱	支柱本体	支柱本体	Pph	有	済	a				a	a																									否	I			
		支柱継手部	Ppj	無																																				
		支柱分岐部	Ppd	無																																				
		支柱内部	Ppi	有	済						a													a																
	支柱基部	リブ・取付溶接部	Pbr	有	済	a					a	a																												
		柱・ベースプレート溶接部	Pbp	有	済	a					a	a																												
		ベースプレート取付部	Pbb	有	済	a	a	a	a	a	a																													
		路面境界部 (GL=0)	Pgl-0	無																																				
		路面境界部 (GL=40)	Pgl-40	無																																				
	その他	電気設備用開口部	Phh	有	済	a					a	a																												
開口部ボルト		Phb	有	済	a	a	a	a	a	a																														
横梁	横梁本体	横梁本体	Obh	有	済	a				e	a																										要	III		
		横梁取付部	Obi	有	済	a	a	a	a	a																														
		横梁トラス本体	Oth	有	済	a				c	a																													
	溶接部・継手部	横梁仕口溶接部	Obw	有	済	a					a	a																												
		横梁トラス溶接部	Otw	有	済	a					a	a																												
		横梁継手部	Obj	無																																				
標識板等	標識板	標識板(添架含む)	Srs	有	済	a	a	a	a	a																											否	I		
		標識板取付部		有	済	a	a	a	a	a																														
	道路情報板	道路情報板	Srs	有	済	a	a	a	a	a																														
		道路情報板取付部		有	済	a	a	a	a	a																														
	その他(灯具等)	灯具	Sli	無																																				
灯具取付部		無																																						
基礎	基礎コンクリート部	基礎コンクリート部	Ebc	有	済						a	a	a	a																							否	I		
	アンカーボルト・ナット	アンカーボルト・ナット	Bab	有	済	a	a	a	a	a																														
ブラケット	ブラケット本体	ブラケット本体	Brh	無																																				
	ブラケット取付部	ブラケット取付部	Bri	無																																				
その他	その他	バンド部(共架型)	Xbn	無																																	要	III		
		配線部分	Xwi	有	済	a					a	a																												
		管理用の足場・作業台	-	有	済	a	a	a	c	a																														
■所見(その他特記事項)														施設の健全性の診断					IV																					

●腐食・孔食が広範囲に進展しているため、早急に撤去等が必要
 ●占用物件(添架標識)については点検未実施。占用者へ点検を要請願いたい。

■点検予定	
点検ができなかった部位	無
点検ができなかった理由	点検予定時期
	点検実施方法

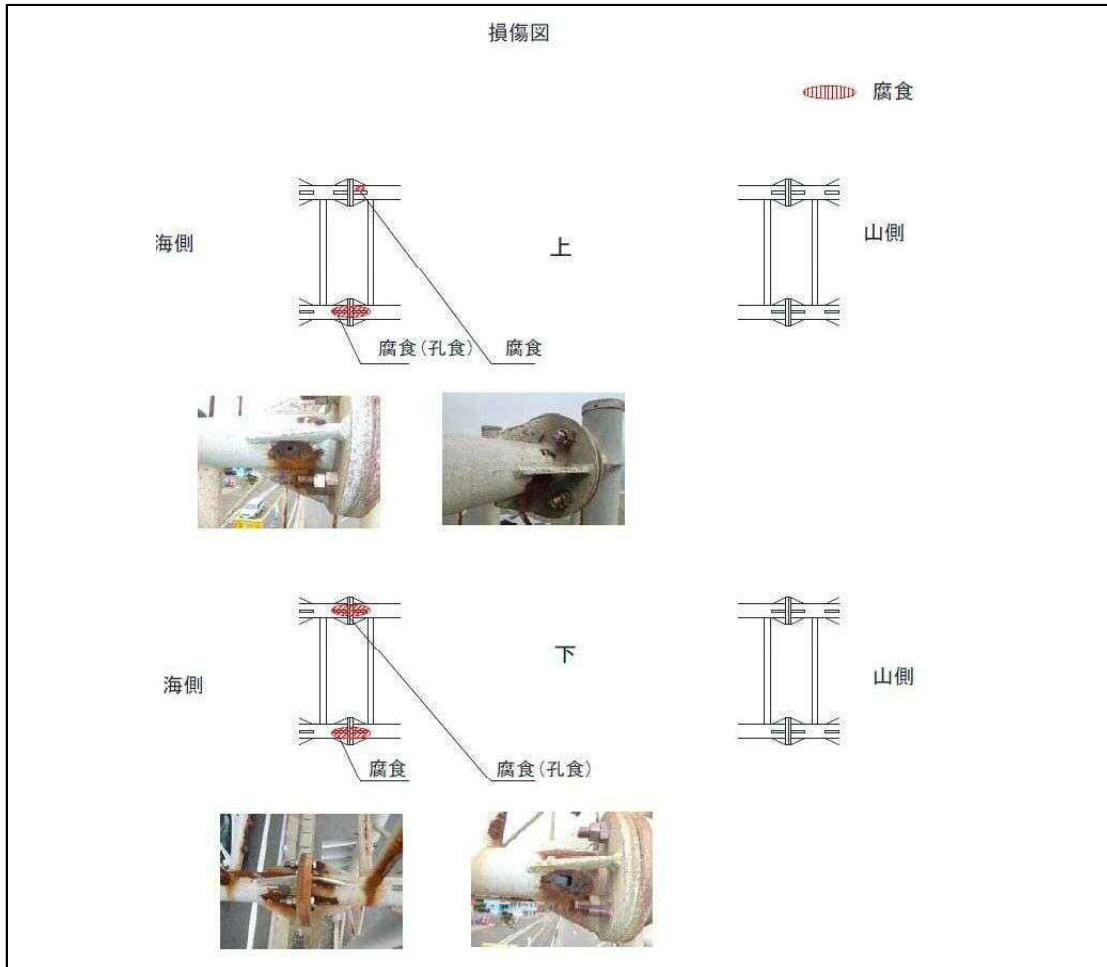
※部材の健全性の診断欄のハッチ(濃いグレー)部は、通常では存在しない点検箇所と変状の種類のみを組み合わせである。
 ※点検調書(例)は、各道路管理者の判断により、大型の道路標識及び道路情報提供装置以外についても定期点検を実施する場合を想定し、共通様式として使用できるように作成したものである。

点検表 (損傷記録票)

種別	道路情報提供装置(添架物有)	管理者	〇〇地整	〇〇国道事務所△△出張所	管理番号	△△△△
----	----------------	-----	------	--------------	------	------

■損傷程度の評価および措置(応急含む)

部材名称	横梁本体									
損傷程度 の評価	部材判定	変状の種類								
		鋼部材					コンクリート部材		共通	
		き裂	ゆるみ・脱落	破断	腐食	変形・欠損	ひびわれ	うき・剥離	滞水	その他
	点検時評価	a			e	a				-
措置後評価										
措置 (応急含む)	実施内容									
	未実施	理由	腐食・孔食が広範囲に進展しているため、早急に撤去等が必要							
		予定時期	2014年〇月							
		予定内容	撤去							
特記事項	腐食が進展し、孔食まで至っている。 海岸線から100m以内の環境にあり、飛来塩分により腐食が促進されたものと思われる。									



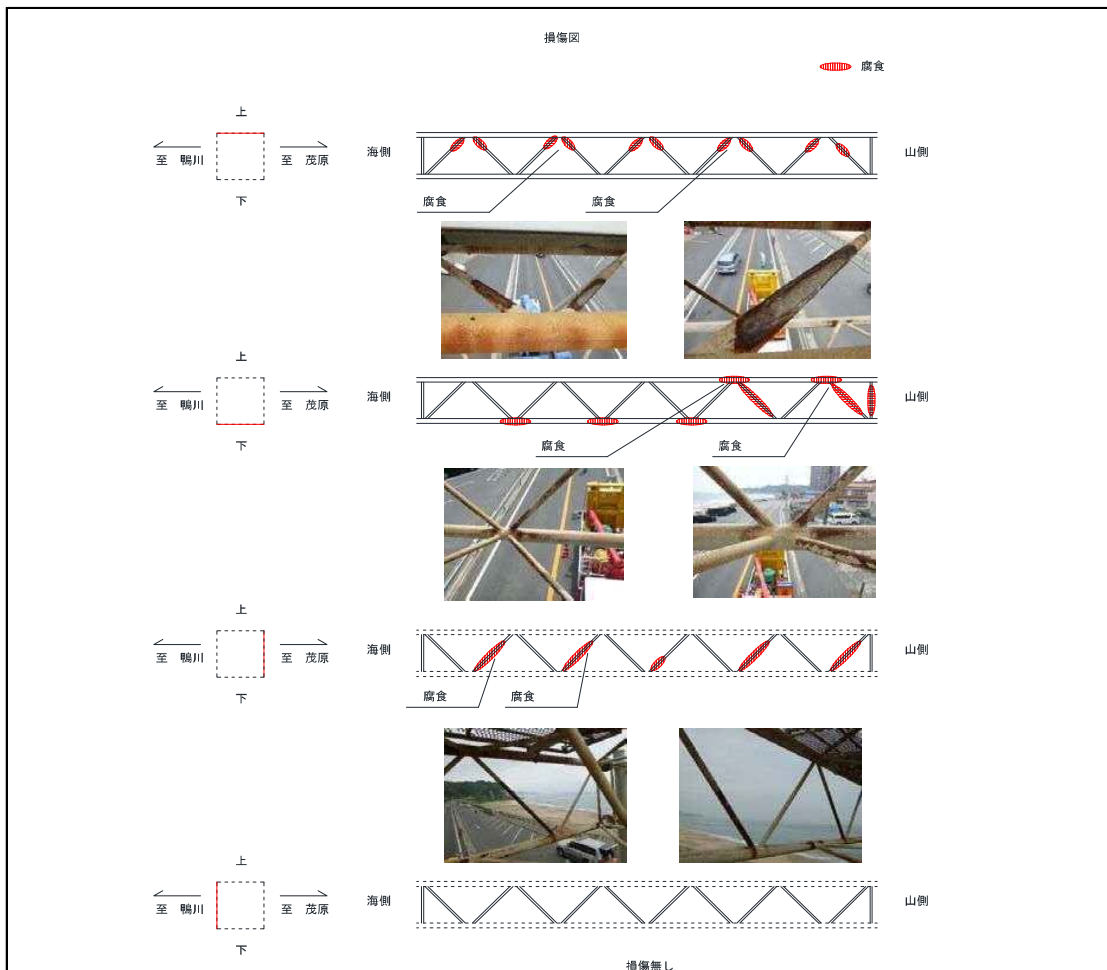
※点検箇所毎につき、なるべく1枚で作成(変状の種類に対する判定区分が、1つでもⅡ～Ⅲと判定された部材毎に作成する)

点検表 (損傷記録票)

種別	道路情報提供装置(添架物有)	管理者	〇〇地整	〇〇国道事務所△△出張所	管理番号	△△△△
----	----------------	-----	------	--------------	------	------

■損傷程度の評価および措置(応急含む)

部材名称	横梁トラス本体									
損傷程度 の評価	部材判定	変状の種類								
		鋼部材					コンクリート部材		共通	
	き裂	ゆるみ・脱落	破断	腐食	変形・欠損	ひびわれ	うき・剥離	滞水	その他	
	点検時評価	a			c	a				-
措置後評価										
措置 (応急含む)	実施内容									
	未実施	理由	腐食・孔食が広範囲に進展しているため、撤去・更新の検討が必要							
		予定時期								
予定内容										
特記事項	海岸線から100m以内の環境にあり、飛来塩分により腐食が促進されたものと思われる。									



※点検箇所毎につき、なるべく1枚で作成(変状の種類に対する判定区分が、1つでもⅡ～Ⅲと判定された部材毎に作成する)

点検表 (損傷記録票)

種別	道路情報提供装置(添架物有)	管理者	〇〇地整	〇〇国道事務所△△出張所	管理番号	△△△△
----	----------------	-----	------	--------------	------	------

■損傷程度の評価および措置(応急含む)

部材名称	管理用の足場・作業台									
損傷程度 の評価	部材判定	変状の種類								
		鋼部材					コンクリート部材		共通	
	き裂	ゆるみ・脱落	破断	腐食	変形・欠損	ひびわれ	うき・剥離	滞水	その他	
	点検時評価	a	a	a	c	a				-
措置後評価										
措置 (応急含む)	実施内容									
	未実施	理由	腐食・孔食が広範囲に進展しているため、詳細調査を実施し、撤去・更新の検討が必要							
		予定時期	2014年〇月中旬							
予定内容	未定									
特記事項	腐食が進展し、孔食まで至っている。 海岸線から100m以内の環境にあり、飛来塩分により腐食が促進されたものと思われる。									

損傷図

見下図

海側

腐

海側

腐

※点検箇所毎につき、なるべく1枚で作成(変状の種類に対する判定区分が、1つでもⅡ～Ⅲと判定された部材毎に作成する)